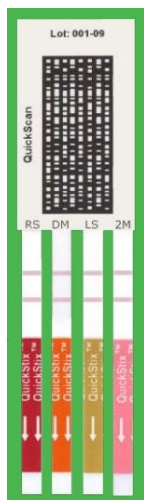


ラテラルフロー ストリップによるGMO大豆 同時検知



遺伝子組換え大豆

CP4 EPSPS (RoundupReady)

PAT/pat (LibertyLink)

DMO (Dicamba 耐性 RR Xtend)

NEW!



TotalTrait™ GMO大豆ストリップ

QuickStix コームが TotalTrait コームにアップデート!!

バルク試料を破碎して、水抽出後、ストリップコームを浸すだけ。
5分後、専用リーダーで**含有率%**を測定、あるいは**目視で定性検知**ができます。

	キット名	CP4 EPSPS RR	PAT/pat LibertyLink	LibertyLink 精密定量用 2m EPSPS	DMO ジカンバ耐性 RR Extend
スキャナ 定量	TotalTrait コーム4	○	○	※	○
	QuickStix-SV コーム2	○	○		
目視 定性	QuickStix-V コーム3	○	○		○
	QuickStix-V コーム2	○	○		

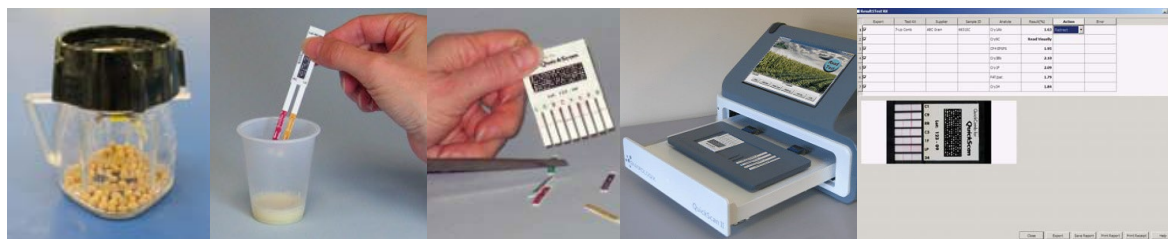
CP4 EPSPS は RoundupReady(RR)シリーズなど様々なスタック品種に導入されているグリホサート耐性タンパク遺伝子です。

DMO は RoundupReady® 2 Xtend に、CP4 EPSPS とともに重複して導入されているジカンバ耐性タンパク遺伝子です。

PAT/pat は、LibertyLink シリーズのグルホシネート耐性タンパク遺伝子です。

※ 2m EPSPS は、LLGT27 や Enlist E3、XtendFLEX などの LibertyLink 系スタック大豆に重複して導入されているタンパク遺伝子で、このタンパクを TotalTrait コーム 4 で同時に測定することにより、LibertyLink 系スタック大豆の含有量も正確に測定することが可能になります。

上記のキットは、これら遺伝子の組換え挿入により発現されたタンパクを、抗体ラテラルフロー法により検出します。



GM 含有率%の測定には QuickScan II リーダーシステムが別途必要です。

LibertyLink 系のスタック品種の精確な定量には、2mEPSPS ストリップを含む TotalTrait コーム 4 キットが必要です。

TotalTrait/QuickStix コーム GMO 大豆ストリップ(ラテラルフロー一斉検出)

遺伝子組換え作物/GMO が発現する特異タンパクをメンブラン上の抗体で捕捉、バンドの発色により、その作物が該当 GMO を含むか否か、あるいは濃度を数分で判別するラテラルフローキットです。コームキットは、GMO 大豆のなかでも代表的な Event に対応した複数種類のストリップをコーム（櫛）状に接合しています。大豆バルク試料を水で一括抽出した上清にコームごと入れ、5 分後にあらわれたバンドで、含まれている組換えタンパクを一斉に検出します。

専用スキャナシステムで含有率%の測定が可能な SV コームと、目視により混入 Yes/No を判断する V コームがあります。IP ハンドリングのスクリーニング法として、あるいは遺伝子ベースの解析後の確認としてなども利用できます。

EnviroLogix 社の GMO ストリップテストシリーズには USDA GIPSA の性能認証を受けているものが数種あり、米国ほか世界で最も利用されているキットシリーズの一つです。

(製造：EnviroLogix Inc.米国) rev.2025.07

商 品 名	◆ リーダー定量 100 組/キット		
価 格	TotalTrait コーム 4 大豆(RR,LL,2m,DM)	(3752ELBC14)	368,000 円
保 管 条 件	QuickStix-SV コーム 2 大豆(RR,LL)	(3752ELBC12)	185,000 円
	◆ 目視定性 100 組/キット		
暗所 4~8℃	QuickStix-V コーム 3 大豆(RR,LL,DM)	(3752ELBV13)	278,000 円
吸湿・折曲厳禁	QuickStix-V コーム 2 大豆(RR,LL)	(3752ELBV12)	185,000 円

TotalTrait コーム 4 大豆は 40 組のセットもあります(3752ELBE14) 170,000 円

LibertyLink 系のスタック品種の精確な定量には、2m ストリップを含む TotalTrait キットが必要です

製 品 内 容 ラテラルフローストリップコーム、反応用ディスポカップ、スポイト=各 100 組

目的・用途 大豆中の各種 遺伝子組換え作物/GMO あるいはその発現タンパクの検出

原 理 ラテラルフロー（イムノクロマト）法

操 作 前処理（大豆バルク試料）



ー高速ブレンダーで均一に破碎。5 倍量の水で抽出し上澄み 12mL をとる。

ラテラルフローストリップの操作

①抽出した試料を反応容器にとり、ストリップ下端を浸す。

②5 分後に下端を切り離し、ライン呈色をリーダー測定/目視する。

他に必要な 水、Waring 製などの高速ブレンダーかミキサー等

試 薬 器 材 含有率測定には別途 QuickScan II システムが必要です

感度等	QuickScan II 感度	目視定性型 感度
CP4 EPSPS / RoundupReady	0.25%	0.1%
PAT/pat / Liberty Link	0.5%	0.5%
DMO / RR2 Xtend	0.25%	0.25%
2m EPSPS / Balance GT27	0.10%	



←QuickScan II リーダーシステム（スキャナ & Windows11 PC 一体）
マイコトキシン検査用 TotalTox シリーズにも対応(680,000円)

◆単独GMキットもあります=(100本セット 95,000円)

RR大豆 (CP4 EPSPS) 定量用 (3751ELQ10B) 感度 0.25%

RR大豆 (CP4 EPSPS) 目視用 (3751EL010B) 感度 0.1%

